



2023年12月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年2月14日

上場会社名 株式会社東京ソワール 上場取引所 東
 コード番号 8040 URL https://www.soir.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小泉 純一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員経営企画本部長 (氏名) 大島 和俊 (TEL) 03-6372-6712
 定時株主総会開催予定日 2024年3月28日 配当支払開始予定日 2024年3月29日
 有価証券報告書提出予定日 2024年3月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (記者向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期の業績 (2023年1月1日～2023年12月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期	15,026	5.5	520	53.4	617	37.5	798	53.9
2022年12月期	14,241	—	339	—	449	—	519	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年12月期	233.35	—	8.9	4.3	3.5
2022年12月期	152.58	—	6.3	3.2	2.4

(参考) 持分法投資損益 2023年12月期 ー百万円 2022年12月期 ー百万円

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年12月期の期首から適用しております。このため、2022年12月期の売上高、当期純利益の対前年同期増減率は、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期	14,714	9,364	63.6	2,729.79
2022年12月期	14,073	8,487	60.3	2,489.71

(参考) 自己資本 2023年12月期 9,364百万円 2022年12月期 8,487百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年12月期	△93	767	△264	2,760
2022年12月期	1,621	279	△1,104	2,351

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年12月期	—	0.00	—	20.00	20.00	69	13.1	0.8
2023年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00	104	12.9	1.1
2024年12月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の業績予想 (2024年1月1日～2024年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,000	1.5	300	△48.4	350	△44.8	250	△70.7	73.05
通期	15,500	3.1	300	△42.3	400	△35.3	300	△62.4	87.66

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期	3,860,000 株	2022年12月期	3,860,000 株
② 期末自己株式数	2023年12月期	429,558 株	2022年12月期	450,868 株
③ 期中平均株式数	2023年12月期	3,422,265 株	2022年12月期	3,401,591 株

(注) 株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する自社の株式は、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当期の財政状態の概況	P. 2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	P. 3
(4) 今後の見通し	P. 3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	P. 3
3. 財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 貸借対照表	P. 4
(2) 損益計算書	P. 6
(3) 株主資本等変動計算書	P. 8
(4) キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(5) 財務諸表に関する注記事項	P. 12
(継続企業の前提に関する注記)	P. 12
(持分法損益等)	P. 12
(セグメント情報等)	P. 12
(1株当たり情報)	P. 12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、経済活動の正常化が本格的に進みましたが、海外経済の減速への懸念や資源価格の高止まりなどもあり、先行き不透明な状況が続いております。

当アパレル業界におきましては、行動制限の緩和により社会活動の正常化が進み、個人消費の回復傾向が見られました。一方、物価上昇や原材料及びエネルギー価格の上昇で、衣料品に対する消費マインドの冷え込みが想定されるなど、今後の事業環境への影響が依然として懸念されます。

このような経営環境の中、当社は2022年度を初年度とする中期経営計画に基づき、事業継続のための「効率的な財務体質の構築」と持続的な成長を実現するための「新たな収益構成の構築」、デジタルシフトや地球環境問題への配慮をはじめとする「社会環境変化への対応」に取り組んでおります。

卸売事業におきましては、継続して取引条件の改善や不採算店舗からの撤退を進めるとともに、「t o k y o s o i r ショップ」では、従来とは異なるカテゴリーの商品展開や、魅力的な売場づくりにより、新たなお客様の開拓に向けて取り組んでおります。

小売事業におきましては、直営店「フォルムフォルマ」は、卒入学式をはじめとする行事や式典の正常化による来店客数の増加に加え、オリジナル商品の提案やデジタル活用によるプロモーションを積極的に行い、唯一無二のショップへの進化に取り組んでおります。Eコマース販売では、自社ECサイトにおけるマーケティングツールの活用やポイント制の導入、ECサイト限定商品の提案を強化することで、売上を伸ばしております。

新規事業におきましては、レンタル事業は、リアル店舗と自社ECサイトの連携や多様化するお客様ニーズに対応した商品の拡充、リアル店舗の試着スペース拡張による予約枠の増加などから堅調に売上を伸ばしております。ライフスタイルブランド「k u r o s'」は、リアル店舗とECサイトの両軸で、各種プロモーションによる認知度向上を図り、事業拡大に向けて取り組んでおります。

このような結果、商品別の売上高は、ブラックフォーマルが99億17百万円（前年同期比7.3%増）、カラーフォーマルが26億17百万円（同1.1%減）、アクセサリー類が24億92百万円（同6.1%増）となり、当期の売上高は、前年同期比7億85百万円増の150億26百万円（同5.5%増）となりました。

利益面では、原材料価格等の上昇に伴う原価への影響はあるものの、主要アイテムであるブラックフォーマルの売上高が増加したことから、売上総利益率は前年同期比1.4ポイント増の52.1%、売上総利益は同6億11百万円増の78億30百万円（同8.5%増）となりました。販売費及び一般管理費は、売上高の増加に伴う販売促進費、荷造運賃、出店を含む店舗賃借料の増加や、次期の成長に向けた投資もあり、全体では前年同期比4億30百万円増の73億10百万円（同6.3%増）となりました。

この結果、当期の業績は、営業利益5億20百万円（前年同期比53.4%増）、経常利益6億17百万円（同37.5%増）、当期純利益は7億98百万円（同53.9%増）となりました

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

流動資産は前期に比べ12億25百万円増加しました。これは主に売上債権の減少2億88百万円がありましたが、棚卸資産の増加10億73百万円や、現金及び預金の増加4億9百万円によるものであります。

固定資産は前期に比べ5億83百万円減少しました。これは主に土地の減少3億3百万円や、リース資産の減少1億36百万円、建物の減少1億8百万円によるものであります。

(負債の部)

流動負債は前期に比べ40百万円減少しました。これは主に仕入債務の増加1億93百万円がありましたが、契約負債の減少1億86百万円や、未払金の減少1億24百万円によるものであります。

固定負債は前期に比べ1億94百万円減少しました。これは主にリース債務の減少1億57百万円や、長期借入金の減少40百万円によるものであります。

(純資産の部)

純資産は前期に比べ8億76百万円増加しました。これは主に当期純利益7億98百万円や、その他有価証券評価差額金の増加1億29百万円によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動による資金減93百万円、投資活動による資金増7億67百万円、財務活動による資金減2億64百万円により、前事業年度末に比べ4億09百万円増加し、27億60百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、93百万円となりました。これは主に税引前当期純利益9億23百万円や、売上債権の増加2億88百万円がありました。また、棚卸資産の増加10億73百万円や、未払又は未収消費税等の減少2億10百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、7億67百万円となりました。これは主に敷金及び保証金の差入による支出24百万円がありました。また、投資有価証券の売却による収入6億51百万円や、有形固定資産の売却による収入1億73百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、2億64百万円となりました。これは主にリース債務の返済による支出1億54百万円や、配当金の支払69百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が弱まり、景気は緩やかに回復していくことが期待されますが、当社を取り巻く事業環境は、物価上昇や原材料及びエネルギー価格の上昇が続いており、節約志向による衣料品に対する消費マインドの冷え込みなどから、先行き不透明な状況が続くことが想定されます。

このような状況の中で当社は、2024年度を最終年度とする中期経営計画の達成を目指し、「効率的な財務体質の構築」と「新たな収益構成の構築」を推進し、デジタルシフトやサステナブル経営をはじめとする「社会環境変化への対応」に取り組んでまいります。

当社は、変化の絶えない環境において今後も成長し続けていくために、これまでの経営理念の根幹となる精神を受け継ぎつつ、企業使命と目指す姿をあらためて定義し、新たなミッションとして「大切な想いの、すぐそばに。」を制定いたしました。これからも、フォーマルのリーディングカンパニーとして時代の流れを見極め、生活者の日常に寄り添いながら、一人ひとりの想いが調和した社会の実現を目指してまいります。

以上により、2024年12月期の通期の業績予想につきましては、売上高155億円、営業利益3億円、経常利益4億円、当期純利益3億円を予想しております。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日における入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、実際の業績は予想と異なる場合があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当事業年度 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,351,024	2,760,383
受取手形	230	—
電子記録債権	36,231	15,670
売掛金	1,741,820	1,545,946
契約資産	150,285	77,974
商品及び製品	3,686,328	4,596,807
仕掛品	288,256	454,133
原材料	9,176	6,150
前払費用	175,760	174,333
その他	9,710	43,048
貸倒引当金	△338	△590
流動資産合計	8,448,483	9,673,856
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	596,697	488,437
構築物（純額）	0	0
機械及び装置（純額）	5,164	5,220
工具、器具及び備品（純額）	65,880	85,853
土地	1,960,115	1,656,362
リース資産（純額）	54,708	37,589
有形固定資産合計	2,682,566	2,273,462
無形固定資産		
リース資産	437,072	300,448
電話加入権	6,770	6,770
無形固定資産合計	443,843	307,219
投資その他の資産		
投資有価証券	1,234,485	1,235,293
関係会社株式	41,000	41,000
関係会社長期貸付金	1,200	—
従業員に対する長期貸付金	10,920	9,596
長期前払費用	5,466	4,093
繰延税金資産	20,658	—
敷金及び保証金	327,493	344,982
賃貸不動産（純額）	856,745	825,193
その他	1,288	2,676
貸倒引当金	△1,076	△2,679
投資その他の資産合計	2,498,180	2,460,156
固定資産合計	5,624,590	5,040,838
資産合計	14,073,074	14,714,695

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当事業年度 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	96,599	106,918
電子記録債務	1,776,720	1,991,477
買掛金	573,140	541,326
1年内返済予定の長期借入金	40,000	40,000
リース債務	170,106	157,873
未払金	419,582	295,194
未払費用	285,696	287,869
未払法人税等	63,580	140,599
未払事業所税	11,153	10,696
契約負債	406,569	220,040
預り金	40,981	47,762
前受収益	502	502
資産除去債務	3,025	2,271
その他	6,906	11,182
流動負債合計	3,894,564	3,853,716
固定負債		
長期借入金	650,000	610,000
リース債務	283,035	125,364
繰延税金負債	—	17,425
退職給付引当金	592,414	554,393
資産除去債務	133,769	141,724
その他	31,542	47,671
固定負債合計	1,690,763	1,496,579
負債合計	5,585,327	5,350,295
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,049,077	4,049,077
資本剰余金		
資本準備金	3,732,777	3,732,777
資本剰余金合計	3,732,777	3,732,777
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,074,950	1,794,782
利益剰余金合計	1,074,950	1,794,782
自己株式	△594,833	△567,034
株主資本合計	8,261,972	9,009,603
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	225,774	354,795
評価・換算差額等合計	225,774	354,795
純資産合計	8,487,747	9,364,399
負債純資産合計	14,073,074	14,714,695

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当事業年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
売上高	14,241,244	15,026,978
売上原価		
商品及び製品期首棚卸高	4,413,813	3,686,328
当期商品仕入高	1,065,678	1,110,867
当期製品仕入高	3,309,463	3,993,546
当期製品製造原価	1,925,866	3,003,790
合計	10,714,821	11,794,533
他勘定振替高	6,205	838
商品及び製品期末棚卸高	3,686,328	4,596,807
売上原価合計	7,022,287	7,196,887
売上総利益	7,218,957	7,830,090
販売費及び一般管理費		
販売促進費	363,054	454,436
運賃及び荷造費	314,784	345,022
広告宣伝費	9,466	9,290
貸倒引当金繰入額	—	1,854
役員報酬	82,450	91,325
従業員給料	3,541,934	3,620,795
賞与	143,545	184,744
退職給付費用	33,412	22,318
法定福利費	513,657	515,212
旅費及び通信費	292,430	308,980
賃借料	530,905	561,498
減価償却費	232,393	264,320
事業所税	11,153	10,696
支払ロイヤリティ	192,994	192,669
その他	617,763	726,837
販売費及び一般管理費合計	6,879,947	7,310,000
営業利益	339,009	520,090
営業外収益		
受取利息	409	346
受取配当金	44,040	38,278
不動産賃貸料	103,710	103,875
助成金収入	11,992	—
その他	16,664	14,328
営業外収益合計	176,818	156,829
営業外費用		
支払利息	19,673	12,311
賃貸費用	44,460	44,216
その他	2,386	2,568
営業外費用合計	66,520	59,096
経常利益	449,307	617,823

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当事業年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	276	354
投資有価証券売却益	65,835	465,977
ゴルフ会員権償還益	16,550	—
特別利益合計	82,661	466,332
特別損失		
事業構造改善費用	31,449	—
減損損失	10,180	160,675
特別損失合計	41,629	160,675
税引前当期純利益	490,339	923,480
法人税、住民税及び事業税	91,286	143,501
法人税等調整額	△119,961	△18,603
法人税等合計	△28,675	124,897
当期純利益	519,015	798,582

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金	
					別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	4,049,077	3,732,777	—	3,732,777	—	—	564,434
当期変動額							
剰余金の配当							
当期純利益							519,015
自己株式の取得							
自己株式の処分			△8,499	△8,499			
自己株式処分差損の振替			8,499	8,499			△8,499
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	510,515
当期末残高	4,049,077	3,732,777	—	3,732,777	—	—	1,074,950

	株主資本			評価・換算差額等		純資産合計
	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計	
	利益剰余金合計					
当期首残高	564,434	△622,230	7,724,059	154,228	154,228	7,878,288
当期変動額						
剰余金の配当			—			—
当期純利益	519,015		519,015			519,015
自己株式の取得		△363	△363			△363
自己株式の処分		27,760	19,261			19,261
自己株式処分差損の振替	△8,499		—			—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				71,546	71,546	71,546
当期変動額合計	510,515	27,396	537,912	71,546	71,546	609,458
当期末残高	1,074,950	△594,833	8,261,972	225,774	225,774	8,487,747

当事業年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金	
					別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	4,049,077	3,732,777	—	3,732,777	—	—	1,074,950
当期変動額							
剰余金の配当							△69,044
当期純利益							798,582
自己株式の取得							
自己株式の処分			△9,705	△9,705			
自己株式処分差損の振替			9,705	9,705			△9,705
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	719,832
当期末残高	4,049,077	3,732,777	—	3,732,777	—	—	1,794,782

	株主資本			評価・換算差額等		純資産合計
	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計	
	利益剰余金合計					
当期首残高	1,074,950	△594,833	8,261,972	225,774	225,774	8,487,747
当期変動額						
剰余金の配当	△69,044		△69,044			△69,044
当期純利益	798,582		798,582			798,582
自己株式の取得		△424	△424			△424
自己株式の処分		28,224	18,518			18,518
自己株式処分差損の振替	△9,705		—			—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				129,020	129,020	129,020
当期変動額合計	719,832	27,799	747,631	129,020	129,020	876,652
当期末残高	1,794,782	△567,034	9,009,603	354,795	354,795	9,364,399

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当事業年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	490,339	923,480
減価償却費	269,994	301,856
減損損失	10,180	160,675
受取利息及び受取配当金	△44,450	△38,625
支払利息	19,673	12,311
投資有価証券売却損益(△は益)	△65,835	△465,977
固定資産売却損益(△は益)	△276	△354
ゴルフ会員権償還益	△16,550	—
事業構造改善費用	31,449	—
契約負債の増減額(△は減少)	406,569	△186,529
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△190,000	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△13	1,854
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△28,386	△38,021
売上債権の増減額(△は増加)	△99,589	288,975
棚卸資産の増減額(△は増加)	594,213	△1,073,329
前払費用の増減額(△は増加)	12,052	1,405
仕入債務の増減額(△は減少)	847,113	193,261
未払金の増減額(△は減少)	6,608	37,040
未払又は未収消費税等の増減額	△150,726	△210,323
その他	19,023	44,679
小計	2,111,390	△47,621
利息及び配当金の受取額	44,450	38,625
利息の支払額	△19,171	△12,325
事業構造改善費用の支払額	△315,697	—
法人税等の還付額	70	—
法人税等の支払額	△199,607	△72,652
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,621,434	△93,973
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△122	△124
投資有価証券の売却による収入	227,832	651,000
有形固定資産の取得による支出	△84,760	△30,335
有形固定資産の売却による収入	5,979	173,276
資産除去債務の履行による支出	△84,490	△2,906
貸付けによる支出	△1,800	△2,000
貸付金の回収による収入	8,127	4,724
敷金及び保証金の差入による支出	△18,876	△24,547
敷金及び保証金の回収による収入	209,319	—
預り敷金及び保証金の受入による収入	95	—
ゴルフ会員権の償還による収入	17,750	—
その他	—	△1,388
投資活動によるキャッシュ・フロー	279,055	767,698

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当事業年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△900,000	—
長期借入金の返済による支出	△40,000	△40,000
配当金の支払額	△812	△69,489
自己株式の取得による支出	△363	△424
リース債務の返済による支出	△163,390	△154,450
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,104,565	△264,365
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	795,923	409,359
現金及び現金同等物の期首残高	1,555,100	2,351,024
現金及び現金同等物の期末残高	2,351,024	2,760,383

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社の事業セグメントは、婦人フォーマルウェアの製造、販売並びにこれに付随するアクセサリ類の販売のみの単一事業であり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(セグメント情報等)

当社は、関連会社を有しておりませんので、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当事業年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
1株当たり純資産額	2,489円71銭	2,729円79銭
1株当たり当期純利益	152円58銭	233円35銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 2. 株主資本において自己株式として計上されている株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する自社の株式は、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めており、また、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式数に含めております。1株当たり当期純利益の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、前事業年度44,078株、当事業年度41,436株であり、1株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式の期末株式数は、前事業年度43,100株、当事業年度39,500株であります。
 3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当事業年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
当期純利益(千円)	519,015	798,582
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	519,015	798,582
普通株式の期中平均株式数(株)	3,401,591	3,422,265

4. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (2022年12月31日)	当事業年度 (2023年12月31日)
純資産の部の合計額(千円)	8,487,747	9,364,399
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	8,487,747	9,364,399
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	3,409,132	3,430,442